

募集班長の模型部屋（第17回）

皆さん、こんにちは。今年も沢山の自衛隊イベントが開催されていますが、どのイベントが面白かったですか？私は子供の頃から駐屯地創立記念日の一般開放が大好きで、入隊するまで高田駐屯地記念日に必ず行ってました。同駐屯地の隊員であった父が忙しそうに働いているのを横目に装備品を見たり、訓練展示を見たりして楽しんでましたね。あれから30年・・・今度は広報の仕事で忙しい私を横目に娘達が楽しんでます（笑）。で、今年の高田駐屯地記念日も娘達を連れて仕事をしていたのですが、そんなに自衛隊に興味のない娘達は当然飽きてくるわけで・・・そこで小銭を握らせ、売店地域で遊んでおいでと手放すと、しばらくして下の娘がニコニコしながらプラモデルを抱えてきました。そして得意げに「お父さんが喜ぶと思って『くじ』で当ててきたよ！」だそうなの。

自分の欲しい物よりお父さんのプラモデルを優先するとは・・・涙で前が見えましょん！というわけで、今回は、娘が『くじ』で当てた

P-51D ムスタング（スイス空軍）です。



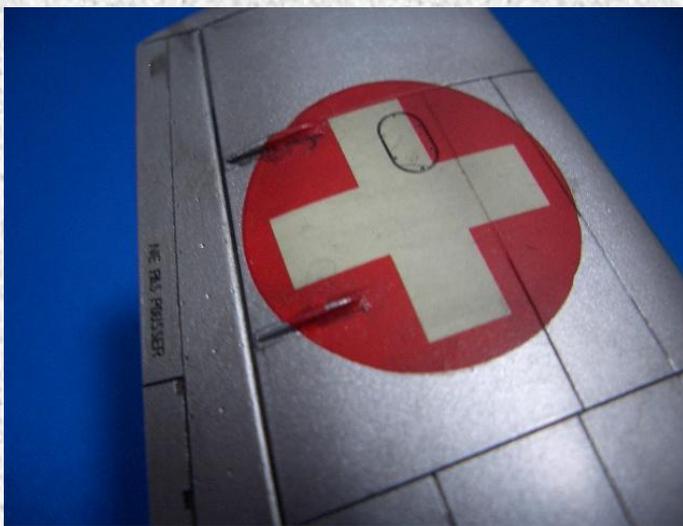
ハセガワから出されている1/48のキット。そもそも、このキット見るまでスイス空軍にムスタングがあったなんて知りませんでした。しかもこのスイス空軍実機の写真は検索しても出てこないし・・・箱の写真とともに、駐屯地にある航空機や空自基地での写真を参考に作ってみました。キットそのものは組みやすく特別な工作を必要とするものではありませんでした。航空機はあまり得意ではないのですが、娘に「上手に作ってね！」と言われたので気合を入れて作りました。



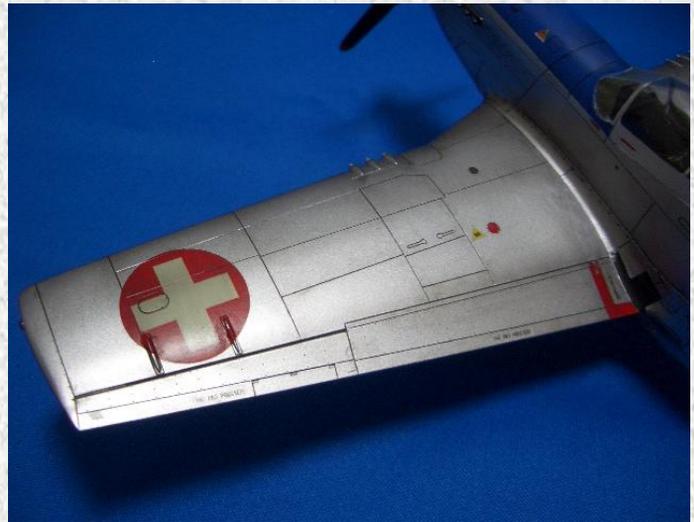
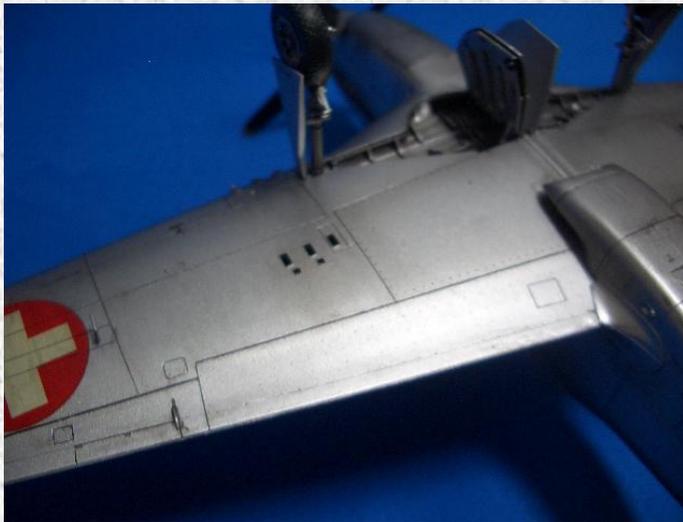
航空機キットのポイントの一つに機体合わせ目の処理があります。機体左右部品の合わせ目をペーパーがけ処理をした時はきれいだったのですが、塗装をした段階で接着剤が乾燥してやせてしまったのか、うっすらと凹んでしまいました。写真では良く分かりませんが・・・処理する時に周囲のリベット等のモールドを削ってしまわないように注意していたのですが甘かったです。反省。



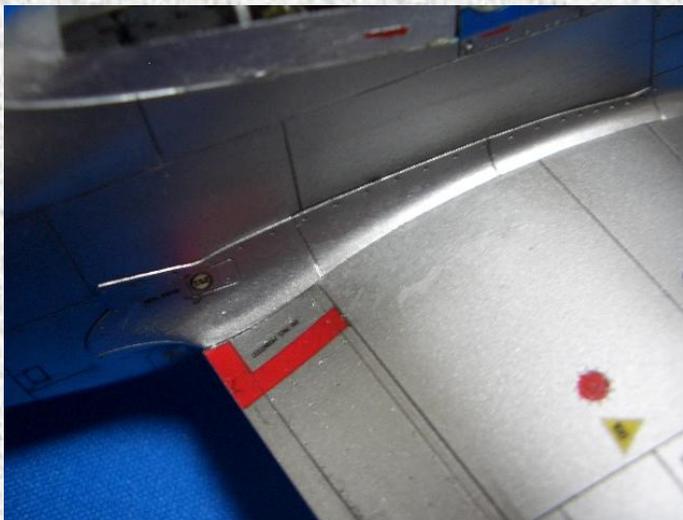
機体全体をクレオスの「ガンクローム」で塗装したのですが、アルミニウムの光沢感が出なかったので、その後スーパーシルバーで塗装しました。でも、違う感じがする・・・まだまだ勉強不足です。全体の塗装が終わり、デカールを貼ってスミ入れし、エアブラシでものすごく薄く希釈したフラットブラックで機体のアルミ板の接合部から発生するカーボンを表現しました。控えめにしたつもりなのですが、ちょっとオーバーになってしまいました。機体がアルミと言うよりスチールみたいに見えます。



このキットのデカールはすごく優れもので、モールドに対する密着度が非常に高く、大きな凹凸でも皺が発生することなく貼る事が出来ました。もちろんクレオスのマークソフターも使用しているのですが、使用しなくても凹部に密着し、カルトグラフ社のデカールに負けない感じでした。



機関銃の銃口部や薬きょう排出口から流れるススをエアブラシで表現してみましたが、写真ではよく分からないかな・・・



乗員搭乗の際に主翼基部に飛行靴でスリ傷が出来るので、フラットアルミで光沢が消えた感じを出してみたのですが良く分かりません。キャノピーは手塗りです。へたくそ！



で、完成したムスタングを娘に見せたら・・・「なんか汚い！それより私の夏休みの宿題の貯金箱作り手伝ってよね！」と一蹴されてしまいました。トホホ・・・さて、次回は旧日本軍戦車です。またお付き合いください。